

発行日 2018年 1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10  
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

# nouvelle Fontaine

## 世界に羽ばたく子どもたちを 岸和田から

神戸女学院大学 音楽学部教授  
岸和田文化事業協会 理事

佐々 由佳里



現在、日本全国には数多くのピアノコンクールやオーディションがあり、一年を通じて幼児から熟年層まで、それぞれの目的を持って参加することが出来ます。コンクールによっては、申込み開始の翌日には定員に達して締め切ってしまうものもあり、年中行事の1つとして毎年同じコンクールにチャレンジする子ども達も少なくありません。では、コンクールやオーディションに参加することで何が得られるのでしょうか？

まず第1に、自分自身の技を磨き、1つの目標に向かって努力を重ねて行くプロセスに意味があると思います。豊かな感性や知識を身に付け、日々の訓練を積み重ねる中で粘り強い集中力が養われます。第2に、舞台という普段と違う華やかな空間で演奏する達成感や喜びを経験できます。舞台は緊張も伴いますが、その中で自己をコントロールする精神力も鍛えられて行きます。第3に、そこで演奏している同世代の仲間達から刺激を得て、情報交換する場にもなります。最近では、審査員からの個別コメントをもらえるコンクールが増えたので、そのアドバイスも今後の練習

に役立てる事ができます。

自信の持てなかった生徒が、1つの舞台の素敵な経験から思いがけない進歩を見せてくれることもありますし、悔しかった経験がバネになって、これまでにない強い意志を持って取り組んでくれる生徒もあります。成功も失敗もそれぞれに自分自身を成長させてくれるものだと感じます。

ひと昔前は、音楽家の登竜門と言われるコンクールは1つ2つしかなく、そこから著名な音楽家たちが巣立って行きました。しかし、今では各地方自治体が特色のあるコンクールやオーディションを作り出し、より身近に参加する事ができる時代になりました。

岸和田市立自泉会館ホールでは2月3日にオーディションが開催され、そのオーディションで選ばれた子どもたちのコンサートを2月25日（日）に開催いたします。登録有形文化財の響きの良い美しい空間で、今年も若い音楽家の卵たちが力いっぱい演奏を披露します。小さなオーディションから巣立って、世界に羽ばたいて行く子ども達を岸和田文化事業協会は応援しています。

## 第7回 JISEN JUNIOR CONCERT

自泉ジュニアコンサート 

日 時：平成30年2月25日（日） 午後2時開演（30分前開場）

会 場：岸和田市立自泉会館ホール

出演者：2月3日のオーディションで選ばれた小学生～高校生

入場料：無料（当日先着100名まで）

# 未来の話をしよう

画家・絵画教室アトリエズガ主宰 藪内 博



今年4月から9月まで放映していた『ひよっこ』というNHKの朝ドラは静かな感動を各方面にまき散らしたが、僕もとても面白く観ていた。ドラマの背景は昭和39年～41年頃。昭和33年生まれのぼくは幼稚園～小学生だった。主題歌は桑田佳祐さんの『若い広場』。歌詞に「幼い頃の大事な宝物をずっとこの胸に抱きしめて来た」という内容の箇所がある。

さて、ではぼくの宝物とはなんだろうか？

4枚の写真がある。すべて昭和のこの時代のイメージだ。

写真①は昭和39年の岸和田市中町、本町界隈である。妹と僕だ。

写真②は数年前に描いた『海・タイル』という絵本のワンシーンである。

「タイル人」という登場人物が奥深い長屋の工場で働いている。家々が孤立せずに奥の奥でつながっているイメージを描きたかったのだ。



写真① 昭和39年頃中町



写真② 海・タイル

さらに写真③。これは若い頃主宰していた劇団「天使の誘惑館」の公演写真だが、作・演出が僕で、『歌謡曲キング』という芝居である。海辺の紡績工場で起こる荒唐無稽で少し悲しいお話だ。

こんなモノばかり作っていたわけではないが、僕には昭和40年前後にインスパイアされた作品は多い。作る時は昔を懐かしむだけでは作品にはならない。新しい物語が必要だ。つまり「新しい過去」を創るのだ。



写真③ 歌謡曲キング

写真④は昨年「貝塚まちなかアートミュージアム2016」で発表した『注文の多い同窓会』という作品だ。これはインスタレーション（様々な素材を配置・構成した空間全体が作品）で、長らく会っていない同級生を探す暗室の迷宮だ。



写真④ 注文の多い同窓会

過去をもって今を塗る。

過去は今、他人は自分、敵こそ味方、地元こそ世界、相反するものは二つでひとつだ。

僕には幼い心象に焼きついた「色」がいくつもある。それが大事な宝物。

郵便自動車の「赤」、刀の鞘の「朱」、ピストル型懐中電灯の光る「黄緑」、品物が入った紙箱の色、色…見れば瞬時にあの頃に行くタイムマシンだ。

僕は何度も行き来する。遠い日から未来の話をしたいのだ。

## 藪内 博(やぶうちひろし)

1958年、大阪府岸和田市生まれ。

多摩美術大学油画専攻卒業後、1984年、劇団「天使の誘惑館」旗揚げ。座長、戯曲、演出を担当し、解散後はグラフィック・DTP業界に沈潜。

1993年会社勤めを経て独立、アート活動を再開。

1998頃から自作の絵本や絵物語、だんじり祭・泉州風景などの墨絵作品を発表。

2006年、幼児こども対象の絵画工作教室「アトリエズガ」を開設。

自分の絵の創作と、こどもたちとの図画工作と、非日常を体験する参加型のワークショップの3つをもって世の中に働きかけている。



# めざせ！ 岸和田マイスター

## 【岸和田城編Ⅱ】

豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。前回に引き続き「岸和田城編」です。

**1** 岸和田城跡（本丸）は元藩主岡部氏から

- ① 購入
- ② 寄贈
- ③ 借地

**2** 現在の岸和田城天守閣はいつ再建されましたか。

- ① 大正11年（1922年）
- ② 昭和6年（1931年）
- ③ 昭和29年（1954年）

**3** 岸和田城天守閣の再建費用は、どれくらいかかりましたか。

- ① 3,460万円
- ② 5,250万円
- ③ 7,350万円

**4** 再建岸和田城天守閣を設計した人は誰ですか。

- ① 渡辺 節（わたなべせつ）
- ② 池田谷久吉（いけだやひさきち）
- ③ 村野 藤吾（むらのとうご）

**5** 天守閣前の庭園と天守閣はどちらが先に造られましたか。

- ① 天守閣
- ② 庭園
- ③ 同時期

**6** 天守閣前の庭園は何という名前ですか。

- ① 八陣の庭（はちじんのにわ）
- ② 法林の庭（ほうりんのにわ）
- ③ 曲水の庭（きょくすいのにわ）



**7** お城の火除けのまじないとしての意味合いを持つ細工はどれですか。

- ① 碁股（かえるまた）
- ② 懸魚（げぎょ）
- ③ 華頭窓（かとうまど）



**8** 岸和田城が造営された小高い丘の名前は何ですか。

- ① 虎伏山（こぶしやま）
- ② 牛滝山（うしたきさん）
- ③ 猪伏山（いぶせやま）

**9** 三の丸神社の祭神はどこから勧請しましたか。

- ① 今宮戎
- ② 伏見稻荷
- ③ 住吉大社



**10** 岸和田城は何町にありますか。

- ① 岸城町
- ② 宮本町
- ③ 本町

※解答は、7面に掲載しています。

# 「利休と待庵」

## 研修旅行を終えて

日時 2017年11月23日 (木・祝)  
参加者 42名  
行程 待庵(妙喜庵)→聴竹居  
→サントリービール工場



聴竹居の庭にて



妙喜庵玄関

11月23日は天候に恵まれて、楽しい旅となりました。

大山崎町は静かな山あいにある美しい町で、宇治川、桂川、木津川が合流する所にあり、江戸期までは交通の要所となっていました。

待庵が建つ妙喜庵は、臨済宗東福寺の塔頭のひとつで、昔、この近辺には100ものお寺があったそうです。また近くにある離宮八幡宮は、古来ごま油製造・販売の油座として多くの商人たちで賑わいました。

妙喜庵はJR山崎駅の前にあります。駅前という場所にもかかわらず、静かで落ち着いた雰囲気のお寺です。

目指す待庵はお寺の一角にあり、中への立ち入りはできません。躡り口からの見学となりました。茶室は狭くて暗くて、けれど利休と秀吉がここで話合ったのかと思うと、大変興味深いものでした。

聴竹居は建築家・藤井厚二氏が、日本の気候風土にあった日本人の体に適した住宅を求め建て続けた

5番目の実験住宅で、昭和3年の建築です。現代においても「こんな工夫がいいなあ」とか「これは真似てみたい」と思えるほどモダンなものでした。調度品や家具に至るまで自身がデザインし、トータル的に住空間が演出されていました。ヨーロッパの視察が大きく影響したようです。人が安らげる家とはどんなものかを追求したエコ住宅の先駆者が、この家に10年しか住めなかったことを残念に思いながら、家とはエコとはと考えました。

現代は時間の流れも速く、流行も多様ですが、長い歴史の中でずっと変わらずにあり続けるものを見学し、その意義を考える一日でした。

※研修旅行をより楽しむために、前もって講習会も2日開催しました。

10月11日(水) 禅宗とお茶について

11月 1日(水) 利休とお茶について

### 【参加者の感想より】

◆行きたいと思っていた待庵と聴竹居に行けてよかったです。とても勉強になりました。聴竹居はもう少しゆっくり見学したかったです。待庵は講習会を受けての訪問だったので、何も知らずに見るのと見方が変わっておもしろかったです。

◆少人数で動きがよく、個人では来にくい素敵な場所へ友人の誘いで寄せていただき喜んでます。幹事の方のご苦労、ありがとうございます。食事、大変おいしく満足しました。聴竹居、大変興味深い建築、ぜいたくな造り。待庵、中へ入りたかったなあ。



聴竹居内



講習会の様子

# Cultural Hot Spot In Kishiwada

## 岸和田の文化ホット情報

### 自然と歴史に守られ地域に共に生きる 「土生神社」

土生神社宮司 阪井 健二

私事ですが、私が土生神社の宮司に就任して15年になろうとしています。この15年の間にJR阪和線東岸和田駅付近の高架化をはじめ地域は大きく変化してきましたが、目に見える変化だけでなく、そこに住む人達の価値観や生活スタイルも大きく変化し多様化しているのではないかと思います。

私がお守りさせて戴いている土生神社はそのような地域の変化から取り残されたように昔ながらの佇まいで静かにひっそりと存在しています。そこに急速に変化していく地域や社会をいつも変わることなく森の中から優しく見守って戴いている土地の神様がおられるのです。

私達の先人は人間の力を越えたものをすべて神様と恐れ崇めてきました。一番身近では私達に豊かな恵みをもたらすと共に時に災害を起こす自然に神様の姿を感じ、感謝と畏れの気持ちからお祭りを行ったのが神社の起源でもあるのです。

和泉葛城山頂には雨の神様でもある八大龍王(高おかみ大神)が祀られ、その神様の化身のように山頂に降った雨が葛城の谷の地域に下りて田畑を潤し人々と共に農作をして地域を作ってきたのです。干魃の年には水をめぐる争いも絶えなかったようですが、それだけに地域の共存共栄を祈る気持ちも強くあったと思います。その一つの現れが現在でも土生と阿間河の農業用水の源である津田川の諸井堰を管理してきた意賀美神社において夏の土用入の日に土生と阿間河からも参列して土用入祭が行われています。



土生町盆踊り

また和泉葛城山頂の八大龍王(高おかみ大神)に雨乞いをしたことが起源と伝わる土生鼓踊りが現在も土生町の盆踊りに大切に継承されています。



土生神社の創建伝承は平安時代の寛治四年(1090年)白河上皇が初めて熊野参詣をされた時に関連づけられています。創建はもっと古いとしてもその頃より現在のご祭神の菅原道真公(天神さん)が祀られ、天神さんがこの地域の人達と共に生きる歴史も始まったのです。そのきっかけになった熊野古道が岸和田を通過しており、昔の道の面影を唯一残されている土生町の道の池堤の道を今後も保全して戴くように願っています。



土生町の道の池堤の道

熊野三山につながる熊野古道にしても、土生鼓踊りにしても、歴史遺産を通して触れる先人の姿は人間の力に驕らず人間の力を越えた存在をいつも感じながら生きていたということです。科学がどんなに発達しても人間の力には限界があり、大自然に生かされていることに変わりはないと思います。地域に残された歴史遺産を大切にしながら先人が向き合ったように神様や大自然と向き合い、命を大切にさまざまな人が助け合い共に生きる地域を作り上げていくために、土生神社では伝統的な行事に加えて先人に学ぶ郷土史講座やまち歩きの会などの活動に取り組んでいます。



Ichigo-Ichien

## 【実家のご近所さんは…】

田中 光代

私の実家は和歌山県田辺市にあります。昔々、明治生まれの祖父母が若い頃、近所にとっても変わった男の人が住んでいました。「先生」みたいだけれど何の先生なのか、家の中で何をしているのか謎。夜中に裸で外に出て大声を出す、顔つきがちょっと怖い。近所の人「おどろしよ（怖ろしい）。はた（端）へ寄ったらあかんで。」と噂していたそうです。その人の名前は「南方熊楠<sup>みなかたたくまぐす</sup>」さん。今では粘菌の研究や民俗学者として世界的に有名な熊楠さんが、晩年の25年間を過ごしていたのでした。私が子どもの頃、何も知らずに前を通るだけだった熊楠さんの家は、今では「南方熊楠顕彰館」という記念館になっています。土蔵や研究室、書齋が再現され、庭には新種の粘菌を発見した柿の木や、熊楠さんがよくジュースにして飲んだ「安藤みかん」の木、好きだった「梅檀（せんだん）」の木

などがそのまま残されています。今にも熊楠さんが書齋から出てきそうな雰囲気です。やっと一般の人々にも理解されるようになった熊楠さんの研究。まだまだ解明されていない分野もあるそうです。記念館も訪れるたびに新しい発見があります。今度帰省したら、久しぶりに行ってみようと思います。



南方熊楠顕彰館

## 【1997年からインターネット20年目】

NPO りんくうフォーラム  
大津谷 誠



インターネットが広がり始めた2000年夏、岸和田の公民館でインターネット利用の講習会が開かれました。それまでに知っていたことも多くありましたが、質疑応答時間に、いくつか質問しました。「泉佐野からきている大津谷です…。1997年から泉佐野市立生涯学習センターで、インターネット関連の体験講習会などを始めた人間で、有志でクラブも作っています。」など。その時、何を質問したか忘れましたが、その場で回答していただきました。

講習会終了後、1、2名の方に声をかけていただきました。「岸和田シニアネットをやってるんだけど、一度ゆっくりお話でも？」「はい、OKです。」

数日後、岸和田で会うこととなり、4、5人ぐらいで、インターネットの将来性など多くの話題で盛り上がりました。その一つに、熊取町情報（私設）を男子中学生が1997年ごろ発信していたことに驚き、メール

交換したことを紹介しました。このころには熊取町公認のページが出来ていたと思いますが、その中学生にも及びませんでした。この事を知っていた人が、当時、岸和田の小学校教師で熊取から来ている先生でした。その後、中学生に一度会いましたが、姿はすでに大学生の青年でした。

すぐに岸和田シニアネット（KSN）に加入して、さらに多くの方と出会い、ひととき中央公民館登録クラブでもあったので、インターネットや映像・画像等の講師もボランティアで受け持ち、使い方など紹介させていただきました。今度、久しぶりにオフ会があるようなので、可能な限り参加しようかと思っています。

声をかけてきた方は岸和田シニアネットを作った今村さん、小学校教師は数年前に亡くなった足立校長先生です。さらに、ifa-きしわだ岸和田市国際親善協会や岸城神社からもお呼びいただいています。身近なようで遠い存在。仕事でも生涯関わらなかっただろう多くの方々を知り合い人生が変わってきたのは、インターネットのおかげかと思っています。

# Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。  
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

## 第51回 自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～

平成29年10月13日(金) 午後6時30分開演

入場者数 66名



### 〈皆さんの声〉

- ◆素晴らしいピアノと透き通る声で楽しいひとときを過ごせました。
- ◆本日の出演者の皆様は大変レベルが高く、聴きごたえのあるコンサートでした。

## 文化の日祝典記念事業 「みんなで楽しくクラシックコンサート」

平成29年11月3日(金・祝) 午前11時45分開演

入場者数 300名

今回は4月のフレッシュコンサートで素晴らしい力量を示されたピアノと声楽のメンバーでのコンサートでした。

若々しい力のみなぎる演奏に会場内は魅了されていました。



## 第52回 フレッシュコンサート ～名曲をたずねて～

平成29年12月1日(金) 午後6時30分開演

入場者数 37名



### 〈皆さんの声〉

- ◆ホールの雰囲気も良く、楽しい時間を過ごせました。
- ◆わたしもプロのピアニストになりたい。(10歳代の回答)

## 秋の名曲を観る会 岸和田能「天鼓」

平成29年10月20日(金) 午後7時開演

入場者数 80名



※9月29日(金)、能をより深く理解して鑑賞できるように「天鼓」のレクチャー教室を行いました。講師はシテ方の赤松禎友先生、参加者は25人。

### 〈皆さんの声〉

- ◆お話も分かりやすく、能への興味・関心が深められよう良かったです。
- ◆とても集中して鑑賞できました。
- ◆天鼓の衣装の美しいこと。お囃子も、仕舞も美しかったです。
- ◆このような機会がこれからも数多くありますよう願っています。
- ◆人間国宝の至芸を間近に見られて良かったです。また料金も安くってラッキーです。

## 文化事業協会produce「自泉X'masライブ」

平成29年12月9日(土) 午後1時開演

入場者数 101名



### 〈皆さんの声〉

- ◆子供達がとてもかわいかったです。ピアノも良かったです。
- ◆ヨーロッパの正統の“聖夜”“聖歌”自泉会館ホールで拝聴出来うれしかったです。それぞれのプログラム内容の演出がとてもステキで満足しました。出演者の皆さんブラボー!!!
- ◆小さい方たちに館のことが分かって良かった。毎年恒例にして出演を楽しみにしてもらえると良い。
- ◆1部はとても楽しく歌と手話も参加させていただき良かったです。2部も大人の方の歌とても良かったです。

### お願い

岸和田文化事業協会主催で、こんなコンサートや展示をしてみてもと思われる方は、どんだん事務所まで案をお聞かせください。

### 【3面、「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

- ② 寄贈【昭和5年(1930年)】
- ③ 昭和29年(1954年)
- ① 3,460万円【うち460万円は寄付で集めたとのこと】
- ② 池田谷久吉(いけだやひさきち)【泉佐野出身】
- ② 庭園【昭和28年(1953年)】
- ① 八陣の庭(はちじんのにわ)
- ② 懸魚(げぎよ)【神前に供える魚】
- ③ 猪伏山(いぶせやま)
- ② 伏見稲荷
- ① 岸城町

# 岸和田文化事業協会の事業 Information

## 第7回 自泉ジュニアコンサート JISEN JUNIOR CONCERT

日時 平成30年 **2月25日**(日)

午後2時開演(開場30分前)

会場 岸和田市立自泉会館ホール

出演者 2月3日(土)のオーディションで  
選ばれた方

入場料 **無料**

(当日先着100名まで)



## 第11回 フレッシュプレミアム コンサート

日時:平成30年 **3月17日**(土)

午後5時開演(30分前開場)

会場:マドカホール

入場料: **1,000円** (当日200円増)

出演者: 西村文花 (ソプラノ)

芹澤紀子 (ピアノ)

大原陽羽 (ソプラノ)

島田優美 (ピアノ)

安田保奈美 (ピアノ)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Email fontaine@sensyu.ne.jp

### 文化情報

#### Atelier Pensée アトリエパンセ 第3回花展 ~花空間~自然と共に~

日時:平成30年3月31日(土)午後1時~午後6時  
4月1日(日)午前10時~午後5時

会場:岸和田市立自泉会館展示室

入場料:無料

主催・問合せ:アトリエパンセ

【天野英子】TEL:090-8534-7225

※4月1日は¥500で花育体験会を開催します。

#### 隗展

日時:平成30年2月1日(木)~4日(日)  
午前10時~午後5時

会場:マドカホール展示室

入場料:無料

主催・問合せ:岸和田美術の会

【赤井裕子】 TEL:072-422-2588

### 今後の事業予定

2018年	2月3日	第7回自泉ジュニアコンサートオーディション(関係者のみ)
	2月25日	第7回自泉ジュニアコンサート
	3月17日	第11回フレッシュプレミアムコンサート(マドカホール)
	4月	第53回自泉フレッシュコンサート
	6月	第54回自泉フレッシュコンサート
	8月	第5回自泉 Re. フレッシュコンサート
	10月	第55回自泉フレッシュコンサート
	12月	第56回自泉フレッシュコンサート

平成30年度(平成30年4月~平成31年3月)

## 会員募集

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

年会費

(入会費不要)

個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円  
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円  
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。  
郵便振込の場合は  
口座番号 00970-9-28145  
加入者名 岸和田文化事業協会

### お知らせ

会員の方は文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

nouvelle  
**Fontaine**

vol.58

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2018年1月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

小島栄子・黒木幸子・小末元恵

西出安廣・堀野和人

### 編集後記...

あけましておめでとうございます。

高齢化社会を目の当たりにし、自分の人生を生きる上で「自分の健康は自分で守る」ように心がけて、自分らしく生きようと思います。(西出)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

